

各 位

平成 14 年 7 月 8 日

株式会社 大 京
取締役広報部長 大越 武

＝大京の「住宅性能評価書」取得マンション＝
完成時の全国シェアは、4割以上(42.4%)にも!!

— 平成 14 年 3 月末時点の国土交通省発表数字より —

株式会社大京（本社：渋谷区千駄ヶ谷、社長：長谷川正治）では、平成 12 年 10 月の「住宅性能表示制度」のスタート時点から、業界の先陣を切って、すべての新築マンションで、「設計」と「建設」両方の「住宅性能評価書」の交付を受けてまいりました。

本制度開始から 1 年 6 カ月が経過した平成 14 年 3 月末現在におきまして、大京の「設計住宅性能評価書」の交付を受けたマンションは、142 棟、1 万 2,624 戸（全国累計シェア 22.4%）となり、完成時の「建設住宅性能評価書」の交付を受けたマンションにいたっては、大京のマンションが全国取得実績の 4 割以上（全国累計シェア 42.4%）を占め、47 棟、3,687 戸となりましたので、お知らせします。

もちろん、これは住宅・マンション業界ではトップで、それも群を抜いた棟数・戸数となっております。

◆ 「住宅性能表示制度」への取り組み

「住宅性能表示制度」は、平成 12 年 4 月に施行された「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」に基づき、同年 10 月から運用が開始された新制度です。この制度に基づいて住宅の性能評価を実施するかどうかは、売主側の任意となっております。

大京では、「お客さま第一主義」の実践を経営方針としており、お客さまに、より安心した暮らしを提供していくため、スタート時点から、国土交通大臣が指定した第 3 者評価機関（主にハウスプラス住宅保証株式会社）に委託して、国の基準による客観的評価を受け、すべての新築マンションを「住宅性能評価書」取得マンションとしてまいりました。

◆ 「設計」、「建設」の「住宅性能評価書」両方で、業界第1号

設計時に評価を受け、交付される「設計住宅性能評価書」と、工事段階で現場検査を受け、完成時に交付される「建設住宅性能評価書」がありますが、大京のマンションが、いずれの交付においても業界第1号となり、先駆的な役割を果たしました。

「設計住宅性能評価書」では、平成12年10月4日に、同時に申請していた11物件で、業界第1号の交付を受けました。

「建設住宅性能評価書」では、平成13年7月18日に、「設計住宅性能評価書」交付第1号の11物件の1つ、「ライオンズヒルズ横濱寺尾」（神奈川県横浜市鶴見区）において、業界第1号の交付を受けました。

◆ 「設計」、「建設」の「住宅性能評価書」取得実績

大京の「住宅性能表示制度」への積極的な取り組みにより、平成14年3月末現在の「設計住宅性能評価書」および「建設住宅性能評価書」のマンション取得実績は、次のとおりとなりました。

「設計住宅性能評価書」取得マンションの実績

	全 国 ※	大 京	シェア
平成12年10月 ～平成13年3月	(144棟) 9,554戸	(52棟) 4,094戸	42.9%
平成13年4月 ～平成14年3月	(850棟) 46,760戸	(90棟) 8,530戸	18.2%
累 計	(994棟) 56,314戸	(142棟) 12,624戸	22.4%

- (注) 1. ※全国の実績戸数は、国土交通省発表の「共同住宅等」の数値
2. 平成14年6月末現在の当社取得実績は、165棟、1万4,518戸となっています。

「建設住宅性能評価書」取得マンションの実績

	全 国 ※	大 京	シェア
平成12年10月 ～平成13年3月	(0棟) 0戸	(0棟) 0戸	— %
平成13年4月 ～平成14年3月	(185棟) 8,686戸	(47棟) 3,687戸	42.4%
累 計	(185棟) 8,686戸	(47棟) 3,687戸	42.4%

- (注) 1. ※全国の実績戸数は、国土交通省発表の「共同住宅等」の数値
2. 平成14年6月末現在の当社取得実績は、54棟、3,993戸となっています。

◆「住宅性能評価書」取得マンションのお客さまのメリット

「設計住宅性能評価書」、「建設住宅性能評価書」ともに、評価のタイミングは異なりますが、国が定める共通のルールに基づき、国土交通大臣が指定する第3者評価機関が審査を行いますので、住宅の品質性能を客観的な数値で評価・表示されることになり、他物件との相対的な比較が可能となります。

その中でも、「建設住宅性能評価書」の交付を受けるためには、マンションが完成するまでに、基礎配筋工事から竣工検査時までの施工状況に合わせた表示性能に関連する現場検査が、通常4、5回行われ、その全てに合格する必要があります。

このように、「建設住宅性能評価書」の交付を受けていれば、設計段階だけでなく、完成時の現物そのものの性能が、現場検査で客観的に裏付けられ、マンションの品質がより明確なものとなります。

また、万一のトラブルの時も、国が指定した「指定住宅紛争処理機関」を、低額料金で利用できるという安心もプラスされます。

◆今後の方向

大京では、今後も販売するマンションの全てにおいて、「設計住宅性能評価書」と「建設住宅性能評価書」の両方を取得し、お客さまにお渡ししていきます。

また、専門家による「品質性能説明会」などのセミナーや各種イベントを通じて、より多くのお客さまに「住宅性能評価書」の重要性をご理解いただき、「住宅性能表示制度」の普及に努めてまいります。

以 上

— この件に関する問い合わせ先 —

株式会社大京 広報部（伊奈、相楽） TEL 03-3475-3802